



おかした しょうへい

## 岡下昌平議員が 府議会で一般質問

岡下昌平議員（堺市選出）は、3月3日に開かれた2月定例府議会で一般質問に立ち、地元泉北ニュータウンの活性化や特別顧問・特別参与の高い報酬額などを松井知事に厳しく追及。さらに農業用取水施設の井堰改修状況や用水の安定確保について質問しました。



〈岡下 昌平 おかしたしょうへい〉

昭和50年3月8日生まれ。大阪府議会議員1期目。日本大学経済学部卒業。岡下信子衆院議員公設第1秘書、政策担当秘書を経て、自民党堺市南区支部幹事長、同党府連青年局副総務会長。府議会商工労働常任委員。  
<http://ameblo.jp/okashita-shohei>

### 泉北高速鉄道の株式売却問題

#### 南海電鉄にいつ売却？利便性は？

昨年12月に議会で否決された、米投資ファンド「ローンスター」への泉北高速鉄道＜運営会社大阪府都市開発（OTK）＞株式売却問題。2月21日、大阪府はOTK株を南海電鉄に約750億円で売却する方針を固めたと発表、岡下議員は今後の運賃値下げやスケジュールなどについて知事に質問した。

Q. 岡下議員

泉北高速鉄道の将来に関わるOTK株式売却は、府議会で良識ある判断のもと否決（昨年12/16本会議）、間違った方向に進まずに済んだ。知事は南海電鉄に随意契約で一括売却を目指すとの方針だが、売却議案はいつ提出されるのか。泉北高速鉄道の利用者の悲願である料金値下げと通学定期割引案拡大はいつ実現されるのか。

A. 知事

5月議会で株式売却の議案提出を目指す。賛成多数となれば鉄道事業者の力を借りて実施する。利便性向上については鉄道事業者の判断に基づく。

### 泉北ニュータウン

#### 「活性化への取組み」どうなってるの？

Q. 岡下議員

泉北ニュータウン活性化の施策展開を再々訴えてきたが、近隣センターも空き店舗が増え、泉ヶ丘駅前の取組みや公的賃貸住宅の再生についても一向に動きが感じられない。今後、泉北ニュータウン再生に地元堺市とどのように連携して取り組むのか。

A. 知事

協議会において泉ヶ丘駅前のビジョンを策定し、東大谷高校の誘致やエリアマネジメント組織の設立に取り組む。また、大阪府タウン管理財団の資産処分や近大医学部等の移転を契機に泉ヶ丘駅前の土地利用転換を図るとともに、公的住宅の再生を進めていく。

### 農業用取水施設

#### 美しい田園風景を守るためにも 老朽化した井堰への早急な対応を

Q. 岡下議員

ゴム堰（※）の老朽化により、水利組合の方々は田植えの時期に覆いかぶさった土砂の撤去等、大変な苦勞をされている。命の水が田畑へ引けなくなるというゴム堰の老朽化問題を、先の都市住宅常任委員会で指摘し「早期に取り組む」との答弁を得たが、現在の進捗状況はどうか、老朽化した井堰への対応方針を伺う。

（※府は河川の機能補償として空気膨らむ大型のゴム製の堰を設置。堰を膨らますことで貯まった水を農地に供給するようにしている。）

A. 都市整備部長

堰以外での取水方法への変更等、複数の案を作成し、水利組合と協議を開始している。整い次第、工事に向けた調査設計に着手する。治水上問題ある残りの井堰についても環境農林水産部、地元市と共に水利組合と十分協議し、対応していく。



委員会などでも数度にわたり岡下議員が要望している、老朽化した井堰への対応。都市整備部だけではなく、農林部局など関係部局も積極的に関与し、地元の水利組合と協議しながら、安心して営農が行える環境整備に取り組んでもらうよう要望します。

### 特別顧問・参与の高報酬

#### 明確な基準を設けるべきでは

Q. 岡下議員

特別顧問・特別参与の高報酬の問題（※）は、我が会派が再三指摘してきたが、これまでの知事の答弁は到底納得できるものではない。改めて特別顧問や特別参与と審議会委員のどこに違いがあるのか、伺う。

（※審議会委員と比較して特別顧問・参与の報酬額は相当高い。例えば一日審議会委員9400円に対し特別顧問53000円）

A. 知事

特別顧問・特別参与の報酬額はミッションの重要性等に見合ったものと認識している。

Q. 岡下議員

「ミッションの重要性」ということでは審議会委員も何ら違いはない。また、特別顧問・特別参与には職員が同席しない打合せについても報酬が支払われている。報酬を支払う際の基準を明確に設けるべきでは。

A. 知事

事前に報告を受けており、適正に支払われている。基準を作るつもりはない。

公募や推薦などの手続きを得ず、知事が選んだ特別顧問・参与。「ミッションの重要性」は審議会委員も同じ。報酬まで「特別」扱いにする明確な理由を示すべきです。